

防災アカデミーin 構

2019年8月18日(日) 10時~16時30分

於 構公民館 構町散策

子ども防災アカデミー
構の防災！避難所体験！

2019.8/18(日) AM 10:00 ~ PM 4:00

場所 構公民館
 対象 小学3年~6年及び中学生
 参加費 参加費無料
 定員 35名
 申込締切 令和元年7月20日(土)

申込方法 子ども会会長 意見までご連絡ください
 090-9986-5061

その他
 ・午前だけの出席は、10時~13時まで
 ・午後だけの出席は、13時~16時まで
 ・行事や都合などの都合もあると思います
 ・ので、平日参加も可能です。
 ・雨天決行です。
 ・午前7時に気象警報発令の場合は中止です。
 ・食物アレルギーのある人は、参加申込の際、
 お問い合わせください。

団体プロフィール
**特定非営利活動法人
 ワカモノデカラプロジェクト**

子ども防災アカデミーは、避難所体験プログラムとおし、地域や仲間との関わり的重要性に気づき、これらから起こる災害に備え、「支援できる避難者」を養成するプログラムです。
 災害が起きたら断水・停電になります。避難所は、一人一畳のスペースすらありません。3日間食糧が届かないかも知れません。
 いざという時、自分の命を守り、家族や仲間の命を守ることができたらいいですね。
 防災について考え、体験する1日です。

プログラム

- 10:00~ ○集合・オリエンテーション
- 構の災害、防災クイズ
- 11:00~ ○防災グッズを体験しよう
- 防災ワークショップ
- 12:00~ ○非常時の食事
- 12:30~ ○消防団による放水体験
- 13:00~ ○防災まち歩き
- 防災まち歩きのまとめ
- 15:00~ ○大発表会

※ 予定ですので、詳細内容は進行状況によって変更する可能性があります。

<持ってくるもの>
 筆記用具
 飲み物(水筒)
 タオル(汗拭き用)
 家にある防災バック(無くてもOK)
 ※ 防災グッズは使用します。
 新聞紙(1日分)
 帽子
 雨天の場合 カッパ
 スーパーの袋1枚(ゴミ入れ)

1日のまとめを子ども達が発表します!
是非、保護者の方もお越し下さい。

NPO法人ワカモノデカラプロジェクトの力をお借りして、構の子どもたちが構町の防災について考え、調べ、体験しました。

自治会、農区、消防団、民生児童委員の他、姫路市社会福祉協議会の協力を得て、とても充実した活動ができました。

また、本活動は「中播磨地域づくり活動応援事業」の助成を受けて運営されました。



ワカモノヂカラプロジェクトのメンバーが打ち合わせをしてくれています。現役大学生が構町の子どもたちのために集まってくれました。



自治会長の挨拶とともに活動のスタートです。子ども達の表情は真剣そのもの。緊張感が伝わってきます。



ワカモノヂカラプロジェクト代表のまーちゃんが進行してくれました。まずはアイスブレイク。(緊張を解きほぐして、活動をスムーズに進めるテクニック)
「背の順に並びなおしましょう」「名前順に並びなおしましょう」「誕生日順にならびなおしましょう」と大人と子どもに分かれて速さを勝負しました。
緊張していた子どもたちも、すぐに打ち解けて、笑い声で包まれました。



グループに分かれて、構の地図に自宅を書き込みます。
地図を見たことはあっても、場所を特定する作業に慣れていない子どもたちは頭を突き合わせて頑張りました。



姫路市の防災マップを確認し、構町に予想されている災害を考えたり、東日本大震災の教訓を学んだりしました。
水があれば60分で御飯ができる「アルファ化米」を体験するために、班ごとに説明書を読み、食事の準備もできました。



アルファ化米が食べれるようになるまで、防災クイズで楽しく学びます。
大人チームは段ボールの簡易ベッドを組み立て、体験の準備をしました。



持ち寄った防災バッグからおすすめ防災用品を選ぶ活動です。グループで何を選ぶか相談しているうちに、使い方や使用状況を具体的に想像することができました。簡易トイレは、実際に設置されても落ち着いて用を足せるものではないことや、サバイバルシートは実際に使うと、音がうるさくて避難所には向かないことなど、備えているだけではわからなかったことが次々と見えてきました。



そうこうしているうちに出来上がったアルファ化米の試食です。水で作ったものとお湯で作ったものの食べ比べをしつつ、限られた数の食器を大切に使うため、お皿をラップで包んで再利用する体験もできました。そして、班ごとに町内の探索計画を練ります。



地面の下設置されている消火栓からホースで放水体験です。その水圧に驚き！



5丁目に新設された放水路も実際に開放していただき、水の動きを確認できました。手柄山から構方向に流れてくる雨水を船場側に逃がす設備です。暗渠になっていて普段は意識していませんが、大雨や集中豪雨の際には常に堰を管理してくださっています。また、町内を班ごとに探索し、たくさんの防災ポイントを発見してきました。



公民館に戻って、しばしの休憩です。1時間程度の散策でしたが、猛暑の中で大変体力を消耗しました。

そこへ、梶原会長から冷たいスイカの差し入れをいただきました。火照った体に大満足のご褒美でした。



ここからまとめ活動です。発見した防災施設などをカードにまとめ、模造紙に貼っていきます。地図ともならめっこしながら真剣モードです。



最後にまとめの発表タイムです。

大勢の大人の前での発表は緊張しますが、マイクをもって頑張りました。

一日一緒に活動してくれた大人からも、しっかりコメントを頂きました。



最後に子ども防災士の称号をいただき、大満足の日でした。